

核都市広域幹線道路

埼玉新都心線～
東北道付近

前回
課題・効果の把握



- 核都市広域幹線道路は、圏央道と外環道の概ね中間に位置する道路です。
- 埼玉県南部における慢性的な混雑の改善が期待されます。

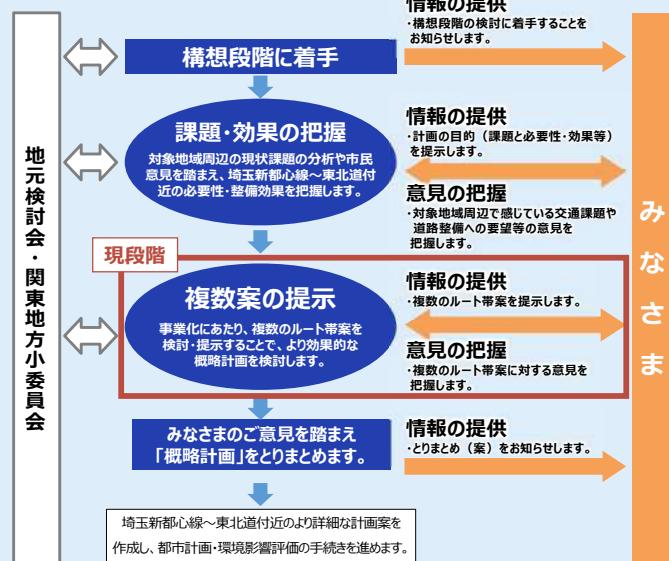


下図：国土地理院地図

今回
複数案の提示



●概略計画の検討の進め方



●複数案・評価項目案の設定の流れ



核都市 ポータルサイト



ポータルサイトはコチラから▶



さいたま市PRキャラクター つなが竜ヌウ

みなさまからのご意見などを踏まえて、
課題・目的を確定し、政策目標と配慮すべき事項に分類しました！

政策目標

- 1 渋滞
- 2 事故
- 3 企業進出・人口増加・拠点間連携
- 4 生活環境
- 5 災害
- 6 医療連携
- 7 観光

配慮すべき事項

- 8 営農・自然環境・景観
- 9 沿道家屋や周辺施設等への影響
- 10 経済性



地域や道路の課題解消のため、
2つの案を設定しました!!



核都市広域幹線道路

案①

北側ルート

埼玉新都心線・さいたま見沼ICと
東北道を最短で結ぶルート帯

案②

南側ルート

住宅地を極力回避した
支障物件が少ないルート帯

複数案（ルート帯・主たる構造）の設定



ルート帯案	ルート帯案の概要	主たる構造案
案① 北側ルート	埼玉新都心線・さいたま見沼ICと東北道を最短で結ぶルート帯 比較的見沼田んぼを通過する延長が短く、環境等の影響が抑えられる	
案② 南側ルート	住宅地を極力回避した支障物件が少ないルート帯 比較的民家への影響を抑えられる	

課題・目的に基づき、複数案を比較評価するための
評価項目案を設定しました！

課題・目的

評価項目案※1

政策目標

1 渋滞

- ① 外環道の混雑の緩和
- ② 主要道路(国道16号、国道463号)の混雑の緩和
- ③ 沿線地域の主要道路（県道等）の混雑の緩和

2 事故

- ④ 周辺地域の主要な道路における交通事故の減少

3 企業進出・人口増加・拠点間連携

- ⑤ 大宮・さいたま新都心地区と美園地区を結ぶ交通軸の形成

4 生活環境

- ⑥ 沿線地域の生活道路に流入する抜け道交通の減少

5 災害

- ⑦ 外環道、圏央道の通行止め時の代替路

6 医療連携

- ⑧ さいたま市内の高次医療施設への速達性の向上

7 観光

- ⑨ 大規模イベント開催施設へのアクセス性の向上

配慮すべき事項

8 営農・自然環境・景観

- ⑩ 営農環境への影響
- ⑪ 自然環境や景観等への影響

9 沿道家屋や周辺施設等への影響

- ⑫ 沿道家屋や周辺施設等への影響
- ⑬ 工事中の影響

10 経済性

- ⑭ 事業費

※1:評価項目案は、最終決定したものではありません。地域のみなさまのご意見を踏まえて修正される可能性があります。
評価項目案を設定する過程の詳細については、ポータルサイトをご参照ください。

評価項目案の設定



課題・目的	評価項目案*	案① 北側ルート	案② 南側ルート
政策目標	①外環道の混雑の緩和	・外環道の交通が転換し、外環道の混雑が緩和する	
	②主要道路（国道16号、国道463号）の混雑の緩和	・国道16号や国道463号の交通が転換し、混雑が緩和する	
	③沿線地域の主要道路（県道等）の混雑の緩和	・県道さいたま春日部線等の東西方向に連絡する周辺主要道路の交通が転換し、混雑が緩和する	
	④周辺地域の主要な道路における交通事故の減少	・国道16号や国道463号の交通が転換し、事故が減少する	
	⑤大宮・さいたま新都心地区と美園地区を結ぶ自動車専用道路のネットワークが形成	・大宮・さいたま新都心地区と美園地区を結ぶ自動車専用道路のネットワークが形成	
	⑥沿線地域の生活道路に流入する抜け道交通の減少	・県道さいたま春日部線等の東西方向に連絡する周辺主要道路の交通が転換し、混雑が緩和する ・それにより、沿線地域の生活道路に流入する抜け道交通が周辺主要道路に転換し、生活道路の抜け道交通が減少する	
	⑦外環道、圏央道の通行止め時の代替路	・外環道、圏央道が事故等で通行止めの場合に代替路として機能する	
配慮すべき事項	⑧さいたま市内の高次医療施設への速達性の向上	・美園地区から、さいたま赤十字病院等の高次医療施設への所要時間が短縮するため、救急医療活動を支援する	
	⑨大規模イベント開催施設へのアクセス性の向上	・さいたまスーパーアリーナや埼玉スタジアム等の大規模イベント施設へのアクセス性が向上する	
	⑩営農環境への影響	・さいたま見沼ICから見沼田んぼを通過する延長が案②に比べて短いため、営農環境への影響が案②より小さい	・さいたま見沼ICから見沼田んぼを通過する延長が案①に比べて長いため、営農環境への影響が案①より大きい
	⑪自然環境や景観等への影響	・さいたま見沼ICから見沼田んぼを通過する延長が案②に比べて短いため、自然環境や景観、文化財等への影響が案②より小さい	・さいたま見沼ICから見沼田んぼを通過する延長が案①に比べて長く、見沼田んぼ地域に近いため、自然環境や景観、文化財等への影響が案①より大きい
9.沿道家屋や周辺施設等への影響	⑫沿道家屋や周辺施設等への影響	・案②に比べ住宅地が多く、大宮共立病院や浦和競馬・野田トレーニングセンターが立地する地域を通過するため、案②より影響は大きい	・案①に比べ住宅地が少ない地域を通過するため、案①より影響は小さい
	⑬工事中の影響	・東北道JCT周辺整備時に市道3502号線の橋梁（新切橋）の架け替えが必要となるが、工事に支障となる物が案②に比べて少ないため、案②より影響が小さい	・東北道JCT周辺整備時に県道新方須賀さいたま線の橋梁（高畠陸橋）架け替え、および南部配水場が立地する地域を通過し、工事にあたり、送水管の仮設が必要となり、工事に支障となる物が案①に比べて多いため、案①より影響が大きい
10.経済性	⑭事業費	2,600～2,700億円	2,800～2,900億円

*評価項目案は、最終決定したものではありません。地域のみなさまのご意見を踏まえて修正される可能性があります。評価項目案を設定する過程の詳細については、ポータルサイトをご参照ください。
また、比較評価案は評価項目案の確定内容を反映して確定します。

みなさまのご意見をお聞かせください

地域のみなさまのご意見を踏まえ、 さいたま市道（計画）を検討しています！



生活環境や渋滞緩和などの効果も含め**多様な観点から検討**して欲しい



地域の活性化も見据えながら検討して欲しい



地元の自動車などが利用しやすいよう、側道も整備して欲しい



さいたま市道(計画)



主たる構造案

核都市広域幹線道路



*見沼田んば区間の主たる構造案については今後別途検討

間合せ先



さいたま市 建設局 土木部 広域道路推進室

TEL : 048-829-1501